令和4年度　学校運営協議会委員による評価書

東洋町立甲浦小学校

学校教育目標　～「思いやりのある子、強くたくましい子、深く考える子」の育成 ～

項目	自己評価	めざす児童像	主　な　取　組　内　容	取組内容の評価指標	達成状況	改善方策	学校運営協議会委員コメント	評価
チャレンジ精神	S・A・(B)・C	**主体的に挑戦し、自らを振り返りながら目標に向かって努力することができる児童**	・学級や児童個々の目標を設定させ、段階的に目標に向かわせるとともに、児童のチャレンジを肯定的に評価し更に意欲を高める。 ・学校行事(鉄棒発表会・水泳大会・持久走大会・縄跳び等)に向けて意欲的に取り組める指導・支援を行う。 ・各取組カード(鉄棒・縄跳び・持久走等)を作成し、段階的に目標に向かわせる。 ・学級、各委員会(執行・放送、体育・保健、図書)での係の仕事を意欲的に行えるように配慮する。	●児童アンケート 1 自らすすんでチャレンジする気持ちを大切に 「そう思う」75%以上(R3:74%,R2:55%) 2 失敗経験からの学びを大切に 「そう思う」 75%以上(R3:74%) 3 将来の夢や希望を持っている 肯定的90%以上 ●教員アンケート 1 児童のチャレンジを肯定的に評価100%	●<u>めざす児童像アンケート(全児童対象)</u> ***1 自らすすんでチャレンジ*** 「そう思う」(7月:63%→12月:66%)　肯定評価100% ***2 失敗経験からの学びを大切に*** 「そう思う」(7月:63%→12月:66%)　肯定評価97% ***3 将来の夢や希望を持っている*** 「そう思う」(7月:70%→12月:80%)　肯定評価97% ●<u>めざす教師像アンケート</u> ***1 児童のチャレンジを肯定的に評価***　肯定評価100% ★「将来の夢や希望をもっている」と回答した児童が増えていることは大きな成果である。	1. 肯定評価は100%、チャレンジすることの大切さは意識できている。今後は個に応じた支援と児童のチャレンジを肯定的に評価し、更に意欲を高めたい。 2. 肯定評価97%、うまくいかなくても諦めない姿勢が育まれているように思う。うまくいかないのは、できるようになるための大切な過程であるということを授業・体験活動等を通してアドバイスしていく。 3. 将来の夢や希望を持っている「そう思う」と回答した児童が80%、肯定評価は97%であった。夢や希望があるから勉強やいろいろな活動に意欲的に取り組むことができる。個々の夢や希望に一歩一歩近づくことができるよう励まし・支援をしていきたい。	・子どもたちに新たな時代に向けた「チャレンジする機会」をつくる事も大事だと思います。 ・改善方策に準じて達成できる様に取り組みましょう。	S・(A)・B・C
コミュニケーション力	S・A・(B)・C	**場に応じた挨拶や、受け答えができ、相手の気持ちを考えながら、『話す・聞く』ができる児童**	・発達段階に応じたマニュアル(「聞き方名人」、「話し方名人」)を作成しモデルを示す。 ・個々が生き生きとするような活動を設定する。 ・縦割班活動(掃除・学校行事)や、登校班(挨拶運動)を個々の関係に配慮し編制し取り組む。 ・挨拶への取組強化月間を設定する。 ・表現力を伸ばすための読書活動の充実に向けた取組を行う。	●児童アンケート 1 自分からすすんで挨拶 「できている」 75%以上(R3:71%) 2 人の考えや発表を大切に聞く 「できている」 80%以上(R3:77%) 3 自分の思いや考えを伝えること 「できている」70%以上(R2:69%) ●教員アンケート 1 児童が発表したりお互いを評価する場を設定(肯定評価100%)	●<u>めざす児童像アンケート(全児童対象)</u> ***1 自分からすすんで挨拶*** 「できている」(7月:72%→12月:69%)　肯定評価93% ***2 人の考えや発表を大切に*** 「できている」(7月:63%→62%)　肯定評価90% ***3 自分の思いや考えを伝える*** 「できている」(7月:67%→12月:59%)　肯定評価93% ●<u>めざす教師像アンケート　7月実施</u> ***1 児童が発表・評価する場を設定***　肯定評価100% ★「自分からすすんで挨拶している」肯定評価はが高いが、相手の方に伝わる挨拶となっているかというと十分ではない。自分の思いや考えを伝えることができるコミュニケーション能力、対人関係能力の向上に力を入れる。	1. 子どもたちは「あいさつ」は大切だという意識はあるが、相手に伝わる「あいさつ」ができているかというとまだまだである。学校・家庭において「あいさつ」をすると気持ちがいいなど、「あいさつ」をするメリットを実感する体験を積み重ねていくことが大事である。家庭にも現状を伝え理解と協力をしていただく。 1. 2. 3. 相手に伝わる「あいさつ」、場に応じた「あいさつ」ができることは、自分の思いや考えを伝えるコミュニケーション力、相手を理解する力、自尊感情の向上など、いろいろな力をある程度、身に付けることができた姿である。学校でのすべての教育活動を通して、これらの力を育むことができるよう取り組む。 2. 3. 毎日の授業のなかで自分の考えや思いを伝える場面を数多く設定する。	・地域を巻き込んだ「あいさつ運動」の取り組みに期待しています。 ・低学年はまだまだ自分から進んで挨拶できていない児童がいます。元気よく挨拶できるように取り組みましょう。 ・小学校低学年から「元気な挨拶」を先生だけでなく、地域の人や友達の親にもあたり前にできるよう、取り組みを続けてほしいと思います。	S・A・(B)・C
自尊感情	S・A・(B)・C	**自分や友だちの個性を大切にしながら、主体的に取り組む児童**	・お互いの良いところを認め合うような取り組みや声かけを行う。(フラワーメッセージ、良いところ見つけ) ・ペア活動、グループ活動などで、関係づくりを進める。 ・日常的に言葉かけをし、子どもたちを評価する。 ・関係機関との連携による特別支援教育の充実 ・スクールカウンセラー(SC)、スクールヘルスリーダーとの連携を図る。	●児童アンケート 1 自分にはよいところがある 「肯定的評価」 90%以上 2 人を思いやる心を大切にする 「そう思う」90% 以上 3 自分の考えや判断を大切に行動 「そう思う」 85%以上 ●教員アンケート 1 児童の良さを意識して評価している。100%	●<u>めざす児童像アンケート(全児童対象)</u> ***1 自分にはよいところがある*** 「そう思う」(7月:60%→12月:62%)　肯定評価93% ***2 人を思いやる心を大切に*** 「そう思う」(7月:73%→76%)　肯定評価100% ***3 自分の考えや判断を大切に*** 「そう思う」(7月:67%→12月:62%)　肯定評価97% ●<u>めざす教師像アンケート</u> ***1 児童の良さを意識して評価している*** 肯定評価100% ★甲浦小学校の子どもは「自分にはよいところがある」肯定評価が高い。これは相手を思いやり、主体的・意欲的に取り組むことができるための土台となるものである。今後は更に「そう思う」と回答できる子どもを増やしていく。	1. 自尊感情を高めるには、自分は温かく包み込まれているという感覚が大事である。一人ひとりの児童理解を深め、更に温かい学級・学校集団づくりに向けて取り組む。また、フラワーメッセージ(友達のいいところを見つけ、評価し合う)の取組内容を充実させる。 2. 3.「思いやり」・「自分の考えや判断」を大切にする行動ができるよう、委員会活動・縦割り班活動など異年齢のたくさんの人と関わる活動を仕組んでいく。 1. 2. 3.　周りの人(友達・家族・地域の方)のために何かをし、周りから必要とされ・感謝される経験を積み重ねていけるような活動を仕組んでいく。	・子どもたちが学校や保護者だけに関わるのではなく、「地域はいつも自分の事を見守ってくれている」と子どもたち自身が実感できる関わりや取り組みを考えていきたいと思います。 ・改善策に準じて達成できる様に取り組みましょう。 ・家庭での保護者との関係性も自尊感情を高めることにつながると思うので、家庭と学校が協力して取り組むことができればと思います。	S・A・(B)・C
郷土愛	S・A・(B)・C	**甲浦の地域の歴史について知り、これからの地域について考えることのできる児童**	・甲浦地域学校協働本部事業を通して地域の人材を活かした教育活動を活発に行う。 ・高知県山の学習支援事業を活用し、「自然の恵みに感謝しよう」をテーマに、森林学習、木材を使った作品づくり、シイタケの駒打ち体験、植樹等に取り組む。 ・高齢者に暑中見舞い・年賀状を送り、地域の方を気遣う気持ちを育てる。 ・学校便り、学級通信等で、児童の活動や様子を情報発信する。	●児童アンケート 1 自分の住んでいる地域が好き 「肯定評価」90% 以上(R3:94%) 2 地域の魅力を伝えることができる 「肯定評価」90% 以上(R3:88%) 3 地域に貢献できる人になりたい 「肯定評価」90% 以上(R3:94%) ●教員アンケート 1 郷土に関する授業や学習を取り入れている。肯定評価80%以上	●<u>めざす児童像アンケート(全児童対象)</u> ***1 自分の住んでいる地域が好き*** 「そう思う」(7月:90%→12月:100%) 強い肯定100% ***2 地域の魅力を伝えることができる*** 肯定評価(7月:90%→12月:93%) ***3 地域に貢献できる人になりたい*** 肯定評価(7月:97%→12月:97%) ●<u>めざす教師像アンケート</u> ***1 郷土学習を取り入れている***　肯定評価80% ★児童全員が「地域が好きだ」そう思うと回答した。東洋町、甲浦が好きだ、大切に思う子どもが育っていることを大変うれしく思う。	1・2・3. 東洋町が好き「そう思う」100%であった。(R3:90%)。今後も地域の教育力を生かした学習を積極的に取り入れる。特に、郷土の歴史・文化、食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さを理解することを目的とした学習を行いたい。 2. 地域学習で学んだことを発表したり情報発信をする場を設定する。 3. 地域に貢献できる活動を意識させ、学習・活動に取り組ませる。また、高齢者の方に暑中見舞い・年賀状を送り、感謝を伝える活動を継続する。	・読み聞かせや学習支援等、地域の方々との連携が郷土愛を育むことにつながっていると思います。 ・改善策に準じて達成できる様に取り組みましょう。 ・コロナで行事が少なくなっている中で、東洋町が好きと言ってくれるのはとてもうれしいことです。このまま続けてもらいたいと思います。	S・(A)・B・C
学力向上	S・A・(B)・C	**自分で決めた計画に沿って学習したり、発表したりできる。これまでに学習してきたことや、できることを使うことができる児童**	・複式及び学習リーダー活用した取組を通して主体的で対話的な授業改善を行う。 ・プログラミング教育の推進 ・加力学習で基礎学力の定着を図る。 ・放課後学習で学習内容の幅を広げ、応用力を高める。 ・自主学習で主体的に学習する力を養う。(「家庭学習の手引き」の作成)	●児童アンケート 1 課題を解決しようと積極的に取り組めている 「肯定評価」90% 以上(R3:89%) 2 話し合う活動を通して考えを深めたり、広げたりしている 「そう思う」 70%以上(R3:69%) 3 家庭学習を目標時間取り組む(低:30分、中:40分、高:1時間 「できている」80% 以上(R3:60%) ●教員アンケート 1 授業スタンダードに基づき、児童を引きつける授業づくりに取り組んでいる。肯定的80%以上	●<u>めざす児童像アンケート(全児童対象)</u> ***1 課題を解決しようと取り組めている*** 肯定評価(7月:90%→12月:90%) ***2 話し合う活動を通して考えを深めたり、広げている*** 「そう思う」(7月:40.0%→12月:62%)　肯定評価97% ***3 家庭学習を目標時間取り組む*** 「できている」(7月:77%→12月:62%)　肯定評価90% ●<u>めざす教師像アンケート</u> ***1 授業スタンダードに基づき、児童を引きつける授業の実施*** 肯定評価90% ★肯定評価は高いが強いが、「そう思う」という強い肯定評価」が更に高くなるよう取り組む必要がある。本年度、子どもが教え合い・学び合う授業づくりに向けて講師(西留安雄先生)をお招きして研修を進めることができた。今後も学校全体で研修を進めていく。	1. 児童が意欲的に取り組もうとする課題設定、学習内容の工夫改善を行う。 2. 毎日の授業のなかで友達の意見を聞き取り、相手に自分の考えや思いをわかってもらえる場面を意図的に設定する。 3. 次年度も自主学習ノートの展示を行い、家庭学習の大切さを啓発する取り組みを継続する。また、家庭学習の内容の充実に向け学校と家庭が連携を取り合いながら内容、そして取り組み方を協議し、改善していく。 1. 2. 3. 西留安雄先生を講師に招き、子どもたちが主体的に学び合う授業改善に向けた研修を進め、複式授業の充実に向け取り組む。	・学校、家庭、地域が連携した取り組みで学力向上を目指したい思います。 ・改善策に準じて達成できる様に取り組みましょう。 ・家庭で、自主的に勉強ができる環境づくりをするよう保護者への声かけが必要だと思います。 ・休日の家での過ごし方(ゲーム・パソコン等)が学習にどんな影響を及ぼすかの説明を続けてほしいと思います。	S・A・(B)・C
生活習慣	S・A・(B)・C	**生活リズムの改善点を考え実践し、時間やルールが守れる児童**	・保健朝礼、健康観察カード、東洋っ子生活リズムチェックなどにより意識の向上を図る。 ・年間を通して「健康調査」、「生活リズムチェック」の取組を行い。実態把握と改善に向けた手立てを行う。 ・道徳科での学びを生かす。 ・食育により、食の大切さを理解させる。 ・講演会等により、生活リズムによる影響を考えたり、改善に生かす。	●児童アンケート 1 毎日、朝食を食べている 「できている」100%(R3:83%) 2 約束した時間やルールなど約束を守る 「できている」80%以上(R3:69%) 3 生活リズムにおける全校のメディア時間の平均を2時間以下とする。 ●教員アンケート 1 生活目標等を活用し、児童に生活習慣に関わる振り返りをさせている。肯定的80%以上	●<u>めざす児童像アンケート(全児童対象)</u> ***1 毎日朝食を食べている*** 「できている」(7月:90%→12月:97%　肯定評価100% ***2 時間やルールなどを守る*** 「できている」(7月:60%→12月:69%)　肯定評価97% ***3 メディアの使用時間を2時間以内に*** 生活リズムチェック期間やノーメディアデイでは意識しているが、日常生活においては十分ではなく、特に休日のメディア使用に課題がみられる。 ●<u>めざす教師像アンケート</u> ***1 生活習慣に関わる振り返りを大切にしている***　肯定評価90% ★朝食については家庭の協力をいただくことができた。保護者アンケート「子どもと話し合って、メディア・スマホ・ゲームの時間を決めている」肯定評価がR3:72%→R4:42%と低くなっている。情報機器の使い過ぎは子どもの心と体の成長に悪い影響を及ぼすことから家庭と連携した取り組みと啓発が必要である。	1. 毎日の健康調査、東洋っ子生活リズム調査等を通じて、個々の児童の現状を把握し評価と改善策を全教員で共有する。 2. 月目標の守り方など、学級会の話し合い活動を充実させ、皆が理解を深め取り組めるようにする。 3. 現在、スマホ・パソコン等の情報機器は生活をしていくうえでなくてはならないものとなっている。しかしながら使い過ぎにより心と体の健康被害が心配される。情報機器を上手に使い、生活リズムが崩れることがないよう家庭と連携した取り組みを進めたい。(調査の実施と啓発、講演会の実施等)	・基本的な生活習慣が学力を支えるため、とても大事なことです。保護者が生活習慣向上に力を入れることがでいるよう地域でも協力していきたいと思います。(保護者向け講演等) ・改善策に準じて達成できる様に取り組みましょう。	S・A・(B)・C

※評価欄　　評定S「優れている」、評定A「良い」、評定B「おおむね満足」、評定C「要改善」

※この評価書は、年度末に学校のホームページで公表